

1. 戦略の目標

第3章に掲げた「戦略」について、計画期間(平成23年度から平成26年度までの4年間)内に達成することを目指して、それぞれ次の目標を設定します。

(1) 戦略領域

① 環境領域

成果指標	目 標 〔実績等〕
i) 新エネルギー*・省エネルギー分野でのビジネスマッチング*会参加企業数	延160社(累計) 〔平成22年度新規〕
ii) 水環境ビジネス*への取組	水環境ビジネス*の推進に向けた環境の整備

② 医療・健康領域

成果指標	目 標 〔実績等〕
i) 医工連携*による研究プロジェクトの構築	研究プロジェクトの創出・事業化
ii) 医療・健康分野での創業数 (第二創業*を含む)	8件(累計) 〔平成21年度実績 2件〕

③ モノづくり基盤技術*領域

成果指標	目 標 〔実績等〕
i) チャレンジ計画認定件数	32件(累計) 〔平成21年度実績 7件〕
ii) 展示・商談会参加企業数	延240社(累計) 〔平成22年度新規〕
iii) 工場等立地件数	80件(累計) 〔平成21年実績 25件〕

④ にぎわい創出・観光領域

成果指標	目 標 〔実績等〕
i) 多様な主体が参画する商店街活性化への取組件数	40件（累計） 〔平成21年度実績 17件〕
ii) 宿泊者数	330万人（平成26年） 〔平成21年実績 2,864,500人〕

(2) 分野横断戦略

① グローバル化*対応戦略

成果指標	目 標 〔実績等〕
i) 海外企業とのビジネスマッチング*	海外におけるビジネスマッチング*の場の構築
ii) 外国人宿泊者数	20万人（平成26年） 〔平成21年実績 66,105人〕

② 人財育成戦略

成果指標	目 標 〔実績等〕
i) 職業訓練受講者の就職率	70%（平成26年度） 〔平成21年度実績 64.7%〕
ii) 職場体験参加者数	2,520人（工業高校累計） 〔平成20年度実績 618人〕
iii) おうみの名工・おうみ若者マイスター認定者数	80人（累計） 〔平成21年度実績 22人〕

③ 連携強化戦略

成果指標	目 標 〔実績等〕
i) 産学官連携等共同研究件数	40件（累計） 〔平成21年度実績 14件〕
ii) 農商工等連携促進法*に基づく農商工等連携事業計画の認定数	16件（累計） 〔平成21年度実績 5件〕

※「累計」とは、平成23年(度)から平成26年(度)までの実績の合計を示す。

2. 評価方法

P D C A (Plan-Do-Check-Action) サイクルに基づき、戦略ごとに設定した目標の進捗・達成状況について、毎年度、定量面または定性面から、自己評価もしくは第三者評価により検証を実施します。

検証の結果については、県民に公表するとともに、施策立案や事業遂行の検討の材料とします。

(1) 定量評価

数値目標を設定した成果指標については、その進捗・達成状況について定量的に評価を行います。

(2) 定性評価

数値目標を設定していない成果指標については、その進捗・達成状況について定性的に評価を行います。

滋賀県産業振興戦略プランの策定について（建議）

「滋賀県産業振興戦略プラン」の策定にあたっては、調査検討や活発な議論を経て、戦略の基本構成を4つの「戦略領域」と、「分野横断的に取り組むべき事項」という新たな視点による構図で、建議書を取りまとめることができました。

特に、加速する経済のグローバル化や激化する地域間競争を勝ち抜いていくことが大きな課題であり、このためには、人材は産業振興の「財(たから)」として活かし、各産業をつなぐという視点で取り組むことが重要です。

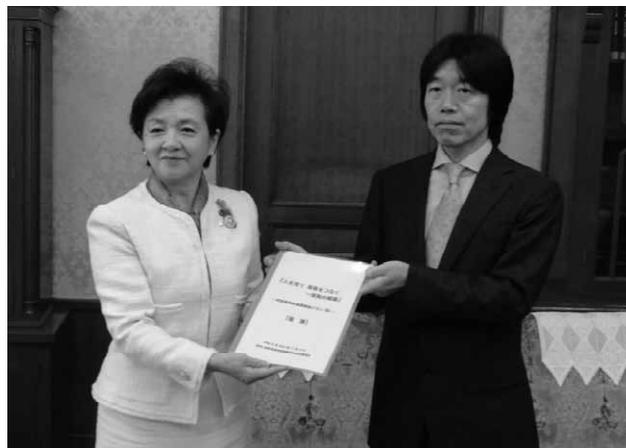
知事におかれては、これを基にして速やかに本県の産業振興に係るプランを策定し、産学官金民が一体となって推進すべき産業振興の戦略を示され、地域に根ざした足腰の強い産業の成長・発展が図られますよう建議します。

なお、産業振興策の推進にあたっては、“新しい発想での取組”という視点を持ち、切り拓いていくことが必要であるとともに、目標達成に向け効果的な展開を図り、適正な進行管理に努められますことを強く望みます。

平成22年（2010年）11月12日

滋賀県知事 嘉田 由紀子 様

(仮称)滋賀県産業振興新戦略策定委員会
委員長 川 端 基 夫



滋賀県産業振興戦略プラン建議